

# 天文月報

## 第貳卷目次

### 第壹號

- ヘール教授の最近研究(小川清彦) 一
- テバット氏(理學士本田親二) 四
- 簡單に恒星時を求める法(田代庄三郎) 六
- 雜報 八
- 月の平均運動の搖れ 八
- 銀河と重星軌道との關係 九
- 螺旋狀星雲と銀河との關係 九
- 千五百五十六年の彗星 九
- 東京數學物理學會通俗講演 九
- 天文學談話會記事 一〇
- 星の掩蔽(理學士小倉伸吉) 一〇
- 四月の惑星だより 一一
- 四月の天 一二

### 第貳號

- ゼーマン効果に就き(理學博士長岡半太郎) 一三
- 希臘の天文學(二)(理學士本田親二) 一六
- 雜報 一九
- 恒星界の光の吸收 一九
- 生物の住家としての火星 二〇
- 變光星ヘルクレス座R星 二一
- 空間に於ける光の分散 二一
- 天文學談話會記事 二三
- 日本天文學會第二定會記事 二三
- 掩蔽の觀測 二三
- 五月の惑星だより 二四
- 東京で見ゆる星の掩蔽 二四

### 第參號

- 五月の天 二四
- 經度測量の要旨(理學士中野德郎) 二五
- ウイルソン山天文臺(小川清彦) 二八
- 雜報 三二
- 空間に於ける恒星の分布 三二
- 水銀望遠鏡 三三
- 短期變光星の變光原因に就て 三三
- 太陽面上粒子の運動 三四
- 寺尾教授の視賀會 三四
- 六月十八日の日食 三四
- 東京天文臺年報 三五
- 天文學談話會記事 三五
- 掩蔽の觀測 三五
- 六月の惑星だより 三六
- 東京で見ゆる星の掩蔽 三六
- 六月の天 三六

### 第四號

- 隕星の起原(小川清彦譯) 三七
- 天文時計(理學士橋元昌矣) 四一
- 四月流星の觀測(理學士小倉伸吉) 四二
- 雜報 四三
- シイ氏の新説 四三
- 日蝕觀測 四四
- 寺尾教授在職滿二十五年祝賀會 四四
- 應問 四六
- 天文學談話會記事 四七
- 日食の觀測 四七

### 第五號

- 掩蔽の觀測 四七
- 七月の惑星だより 四八
- 東京で見ゆる星の掩蔽 四八
- 七月の天 四八
- 明治四十四年の皆既日蝕遠征に關し當局者に望む(理學士一戸直藏) 四九
- 赤道儀の話(理學士小倉伸吉) 五一
- 希臘の天文學(三完)(理學士本田親二) 五三
- 雜報 五六
- 恒星界に於ける紫外光線の吸收 五六
- コルドウア天文臺長 五七
- 英國王立天文學會 五七
- 天體寫眞萬國會議 五八
- 噫シモン、ニューコム氏 五八
- 彗星の發見 五九
- 八月の惑星だより 六〇
- 東京で見ゆる星の掩蔽 六〇
- 八月の天 六〇

### 第六號

- 火星の衝に就きて(理學士福見尙文) 六一
- 亞刺比亞の天文學(理學士本田親二) 六四
- 北極星の最大離隔(田代庄三郎) 六六
- 天文奇聞(小川抄譯) 六八
- 雜報 六九
- 太陽の斑點に於ける放射運動 六九
- 假想惑星ウルカンの搜索 七〇
- 球狀星團に關するペライン氏の研究 七〇

### 第七號

- 應問 七一
- 掩蔽の觀測 七一
- 九月惑星だより 七二
- 東京で見ゆる星の掩蔽 七二
- 九月の天 七二
- 宇宙有限説に就いて(理學士平山清次) 七三
- 宇宙の構造に關する最近の研究(二)(一戸直藏譯) 七七
- 我國の編曆事業に就いて(一戸直藏) 八〇
- 雜報 八二
- ローエル天文臺の新望遠鏡 八二
- ニューコム教授と事業 八二
- 火星の昨今 八二
- 生物の住居としての金星 八三
- 十月の惑星だより 八四
- 東京で見ゆる星の掩蔽 八四
- 十月の天 八四

### 第八號

- 四季の區分法と溫度との關係(理學博士平山信) 八五
- 極光の話(一)(小川清彦) 八八
- 明治四十三年曆に就いて(有田邦雄) 九一
- 雜報 九三
- 十一月二十七日の月蝕皆既 九三
- 北部天球に於ける最近恒星ハリーの彗星現はる 九五
- 天文學談話會記事 九五

十一月の惑星だより 九六  
 東京で見ゆる星の掩蔽 九六  
 十一月の天 九六

第九號

天文と氣象と(理學博士木村榮) 九七  
 極光の話(二)(小川清彦) 九九

世界各國に行はるゝ曆法に就きて (高橋潤三) 一〇三

雜報

大流星の経路 一〇六  
 地球の形状及大さ 一〇七  
 火球を見る 一〇七

十二月の惑星だより 一〇八

東京で見ゆる星の掩蔽 一〇八

十二月の天 一〇八

明治四十三年天文略曆 附録

第十號

南部カリフォルニアに於けるカーネギー氏の研究所(理學士蘆野敬三郎) 一〇九

宇宙の構造に關する最近研究(二) (一月直藏譯) 一一二

極光の話(三完)(小川清彦) 一一三

雜報

流星の停留輻射點 一二七  
 火星のスペクトル 一二七  
 伊能忠敬翁の彗星に關する書翰 一二七

日本天文學會第三定會 一二八

天文學談話會記事 一二八

月蝕の觀測 一一九  
 掩蔽の觀測 一二九  
 一月の惑星だより 一二〇  
 東京で見ゆる掩蔽 一二〇  
 一月の天 一二〇

第十一號

慶州瞻星臺の記(理學士和田雄治) 一二二

宇宙の構造に關する最近研究(三) (一月直藏譯) 一二四

歐州中世紀の天文學(理學士木田親三) 一二七

雜報

ハリー彗星の昨今 一二九  
 新彗星 一二九  
 歡迎すべき最近の天文書籍 一二九  
 一大新彗星の出現 一三〇  
 隆熙四年日用便覽 一三〇

天文學談話會記事 一三一

星座名

掩蔽の觀測 一三一  
 東京で見ゆる星の掩蔽 一三一  
 二月の惑星だより 一三二

流星群

二月の天 一三三  
 新彗星 一三三  
 北極星の最大離隔(田代庄三郎) 一三四

第十二號

天文及精密器械製造の急務 (理學士橋元昌彦) 一三五

トレプトー天文臺及臺長アルヘンホルド氏(理學士福見尙文) 一三六  
 宇宙の構造に關する最近研究(四) (一月直藏譯) 一三八  
 机上の塵II天文學雜誌 (小川清彦) 一四〇

雜報

ハリー彗星 一九二〇年の彗星 一四三  
 天文學談話會記事 一四四  
 掩蔽の觀測 一四五  
 東京で見ゆる星の掩蔽 一四五  
 三月の惑星だより 一四六  
 三月の天 一四六

索引

挿入寫眞圖

太陽 二  
 太陽斑點 三  
 ウインゾル天文臺 五  
 斑點のスペクトル 一五  
 バンベルヒ子午儀 二五  
 スノー望遠鏡のセーロスタット 二八  
 高塔望遠鏡 二九  
 同鏡附屬分光寫眞儀の細隙 二九  
 六十インチ望遠鏡 三〇  
 リーフレアル振子時計 四二  
 日蝕 四四  
 理科大學教授寺尾博士 四五  
 エルケス天文臺赤道儀 五一

昴宿 五七  
 シモン、ニユーコム氏 五九  
 火星 六四  
 銀河 七九  
 幕狀北光 八八  
 弧狀北光 八九  
 花笠狀北光 一〇〇  
 ウイルソン山觀測所 一一一  
 瞻星臺 一二三  
 新彗星 一三三  
 トレプトー天文臺全景 一三六  
 アルヘンホルド望遠鏡 一三七  
 千九百十年彗星 一四四

